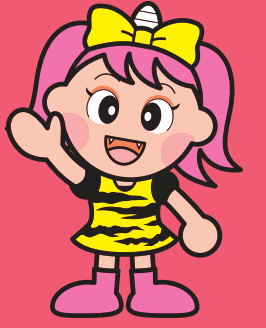




ご自身の命と身体を守るため、 1日も早いワクチン接種をお願いします。



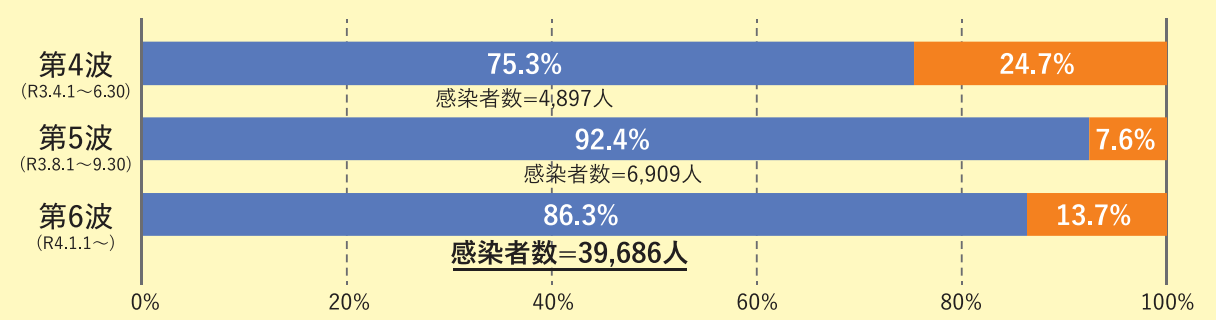
県内の感染状況

新型コロナウイルスは、今年に入りオミクロン株に置き換わり、岡山県でも感染の急拡大により、**令和4年2月5日には過去最多の1日当たり1,458人の新規感染者が確認**されました。

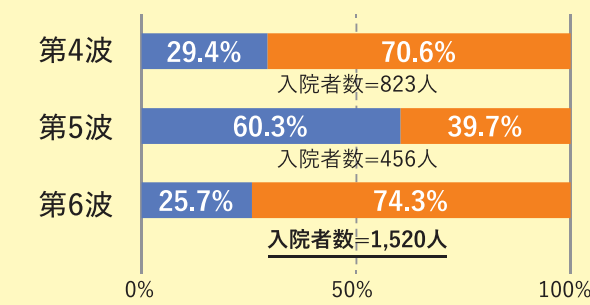
◎第6波における高齢者の状況

新規感染者に占める60歳以上の割合は、2回目のワクチン接種が進んだ第5波時と比べると、第6波では7.6%から13.7%へと増加しています。新規感染者に占める60歳以上の割合と比較して、60歳以上は感染後に入院する確率が非常に高くなっています。また、オミクロン株への感染が契機となって基礎疾患が悪化する事例も多く発生しており、死亡者はどの波でも60歳以上がほとんどを占めています。

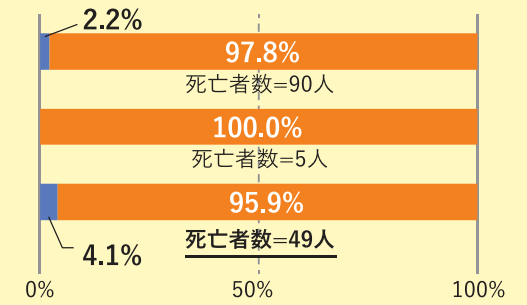
■県内の新規感染者



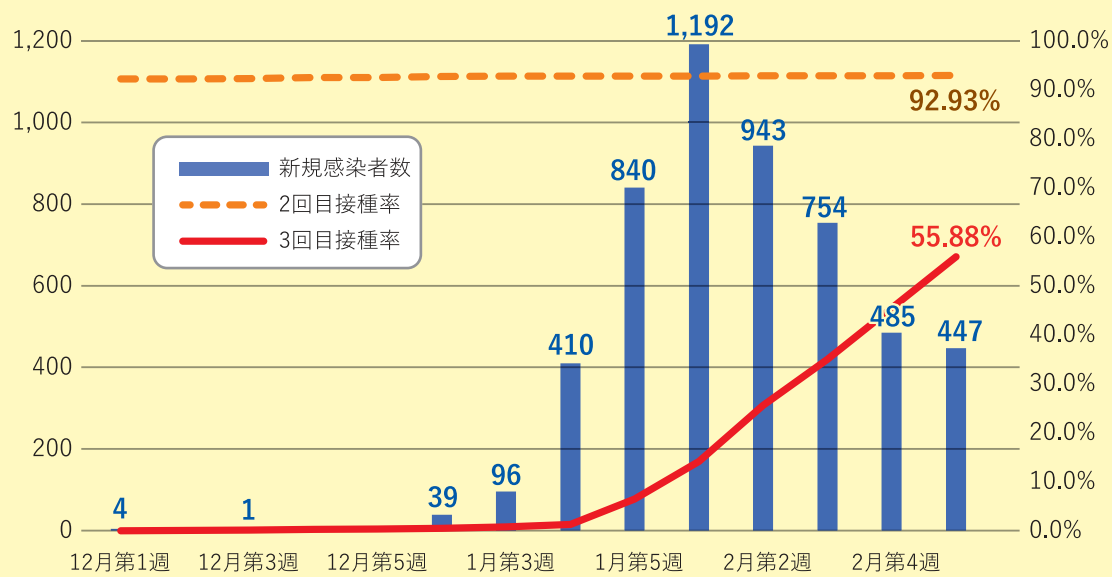
■県内の入院者



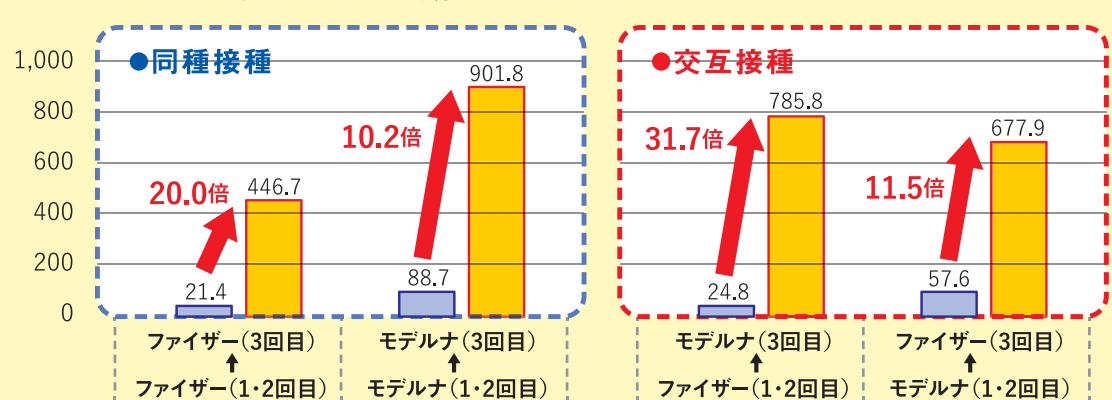
■県内の死亡者



■県内の60歳以上の新規感染者数と接種率



■3回目接種と交差接種の効果 (3回目接種前と接種15日後の中和抗体価比較)



(出典:Atmar RL, Lyke KE, Deming ME, et al. Heterologous SARS CoV 2 Booster Vaccinations: Preliminary Report.)

ワクチン接種について

■3回目接種の効果

新型コロナワクチンは、デルタ株等に高い発症予防効果がある一方、感染予防効果や、高齢者においては入院予防効果についても、時間の経過に伴い、徐々に低下していくことが示唆されています。一方で、**3回目接種により、低下した発症予防効果や入院予防効果等を高める効果があることが、臨床試験や様々な疫学研究で報告されています。**左のグラフは、12月以降の60歳以上の方の新規感染者数とワクチン接種率を示しており、3回目接種の進捗に伴い、新規感染者数は大幅に減少しています。

■交差接種

1・2回目と3回目異なるワクチンを接種することが可能であり、左下の図表のとおり、交差接種した場合は、中和抗体価が大幅に上昇することがわかっているなど**十分な効果があるとともに、安全性も確認されています。**

■副反応

どのワクチンを接種した場合でも、**発熱や倦怠感などの副反応が発生することが報告されていますが、そのほとんどが数日以内に回復することが確認されています。**

特に“高齢者”の方は、
予約が取れる場所での早期接種をご検討ください。

岡山県では、下記のとおり県営の接種会場を設けていますので、ご予約をお願いします。

**1 川崎医科大学
総合医療センター**

●毎週：月曜日～土曜日 (14:30～18:00)

**2 岡山県南部
健康づくりセンター**

●4/10(日)まで毎日 (14:30～18:00)

3 岡山県医師会館

●毎週：金曜日・土曜日 (19:30～21:00)

予約方法

◎お電話でご予約の場合

- ①・② = 086-201-2907 (10:00～19:00)
- ③ = 086-226-7962 (8:30～12:00 / 13:00～17:15 ※土日祝日除く)

◎インターネットでご予約の場合

右記の岡山県共通予約システムへアクセスし、「県営」と検索してください。



岡山県

<https://www.pref.okayama.jp/page/714974.html>

